



氷川町DX推進方針（概要版）

令和4年3月 氷川町DX推進本部会議



デジタル技術は「詳しい人だけのもの」から「みんなの暮らしに身近なもの」になり、社会全体で活用が進んでいます

国の計画

- ・デジタル社会の実現に向けた重点計画
- ・自治体DX推進計画
- ・デジタル田園都市国家構想

県の計画

- ・熊本県情報化推進計画
- ・熊本県情報化施策実施計画

DX デジタル トランスフォーメーション

デジタル技術やデータの活用によって、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること

求められていること

"誰一人取り残さない、人に優しい社会"を
デジタルのちからで実現

社会の変化

- ▲デジタル技術の進歩
- ▲スマートフォンの普及
- ▼少子高齢化・労働力不足
- ▼新型コロナウイルス感染症 など



氷川町DX推進方針

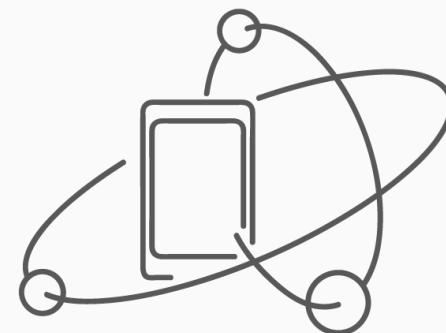
みんなに寄り添うスマート田園都市、ひかわ

暮らし

- 誰もが便利で質の高いサービスを楽しむことができる環境整備
豊かな町民生活の実現を推進
- デジタルデバイド（情報格差）解消
町民が行政に参加しやすくなる仕組みの構築



デジタル活用を新たな選択肢に



地域

- 少子高齢化、自然災害、新たな生活様式への転換など
社会課題の解決に向けたデジタル活用や人材育成
- デジタル活用による町の新たな価値創出

行政

- 持続可能な行政サービス提供に向けた
デジタル活用による業務改善・事務の効率化
- 職員による"人でなければできない業務"の推進

今後の動き

令和3～7年度にかけて、様々な施策に取り組みます
※技術の進化や国・県の動向を踏まえ適宜見直し・改善

デジタル人材育成
地域DX施策
情報システム標準化・共通化
行政手続きオンライン化
マイナンバーカード普及促進



キャッシュレス推進

情報発信の見直し

情報セキュリティ対策

AI・RPA利用拡充

デジタルデバインド（情報格差）対策

テレワーク環境整備

